

国際大会記念事業「花の散歩道」完成

国際大会記念事業委員会

委員長 **若林 紀男**
 (大阪東RC)

去る4月14日生憎の雨模様の中、午前11時より平松市長・坂本中之島高速鉄道(株)社長・横山G並びに市関係者、中之島高速鉄道(株)関係者、ロータリー関係者が出席して「花の散歩道」完成セレモニーが催されました。

平松市長には感謝の意を込めたご祝辞を頂き、坂本社長からのご祝辞、横山Gの挨拶と滞りなく進行し、場所を移して記念事業の主旨が記されている銘板の除幕を以って無事終了致しました。

銘板の言葉を読みながら、頭の中はふと5年前にタイムスリップ致しておりました。

五月晴れのもと大阪ドーム（現京セラドーム大阪）へ向かう人の波は、どの顔も今から始まるイベントへの期待に少々紅潮した様に見えたあの日。2004年5月23日、国際ロータリー第95回年次大会（大阪大会）の開会式は、45,381人の参加者が集い盛大に開催されました。

過去94回の大会中、日本で開催された2

度の大会は東京大会であり、初めて東京以外で開催された都市となったのであります。当地区の会員は全員登録、そして様々な分野に於いて黒子役として活躍された姿は、世界のロータリアンから高い評価と感謝を得ました。

大成功の対価として、RIより当地区に報償金が配られ、その報償金の一部を永く記念に残る事業にと、大阪市と協同で植樹事業「花の散歩道」を計画し、大会の思い出の地、国際会議場、リーガロイヤルホテル前の堂島大橋を起点に、玉江橋、田箕橋迄の護岸に植樹をし、一部が「花の散歩道」と命名されました。5年の月日を要しましたが、立派に完成致しましたのも全会員のご協力の賜物と感謝申し上げます。

四季を通じて花が咲き、緑滴る樹木を見ながらのそぞろ歩きは、市民憩いの場所となるでしょう。会員の皆様にも季節の良い時に、あの熱気を思い出しながら、散歩されることをお勧め致し、報告を終わります。

